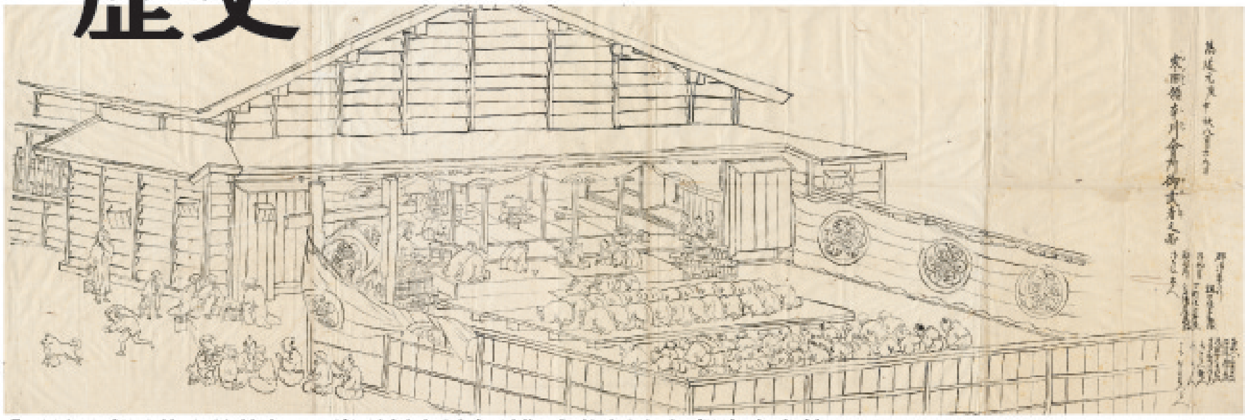
別海町郷土資料館附属施設加賀家文書館 第11回特別展

知られざる幕末会津藩北辺防衛の歴史



『万延元庚甲秋八月廿九日　寒所領本川会所御武者之図』加賀家文書館

幕末の動乱期、蝦夷地と呼ばれた北海道は東北六藩による分割統治がはじまり、根室場所は西別（現在の別海町本別海）を境に北側が会津藩領、南側が仙台藩領となった時代がありました。

この時「加賀家文書」を書き残した加賀伝蔵は、会津藩の蝦夷地警衛の拠点となった標津場所の支配人を勤めることになります。そして、数少ないこの時代の資料を残し、赴任してきた会津藩士と深い関わりがあったことがわかりました。

会津藩藩主松平容保は、蝦夷地警衛の二年後京都守護職を命じられ、苦難を乗り越え京都の治安に努めましたが、鳥羽伏見の戦いに破れ京都を追われ、敗者への道を歩みます。蝦夷地に赴任していた藩士も最後の戦いに備え蝦夷地を引き揚げて行きました。

本特別展は、蝦夷地に渡った会津藩に焦点をあてると共に、従来から暮らしていたアイヌ、場所請負人の動向を探り、幕末のこの地方の様子を紹介したいと思います。

会　期　平成25年8月10日（土）～29日（木）
　　　　平成25年10月8日（火）～11月28日（木）
場　所　別海町郷土資料館
　　　　附属施設　加賀家文書館
時　間　午前9時～午後5時
休館日　8月12日（月）17日（土）18日（日）
　　　　26日（月）31日
　　　　10月14日（月）19日（土）20日（日）28日（月）
　　　　11月2日（土）3日（日）4日（月）11日（月）
　　　　16日（土）17日（日）23日（土）
入館料　郷土資料館・加賀家文書館入館料で観覧出来ます。
　　　　大人300円（団体10名以上240円）

主催：別海町郷土資料館

お問合せ
〒086-0201北海道野付郡別海町別海宮舞町30番地
TEL・FAX0153-75-0802　e-mail kyoudo@betsukai.jp

共催：標津町歴史文化研究会・標津町ポー川史跡自然公園・中標津町郷土館

※本特別展は、標津町歴史文化研究会が今年度開催する「会津藩蝦夷地御領分標津元陣屋創建150年事業「標津番屋屏風原画特別展」との共催事業として実施しております。